ケイタイ情報と他のメディアを比較し、より確かな情報を得る方法を提案する！

堀尾　佳華
山本　朝美
吉田　伶央奈

情報社会を生きる力はこれだ！
「1つのメディアだけでなく複数のメディアを活用しよう！」

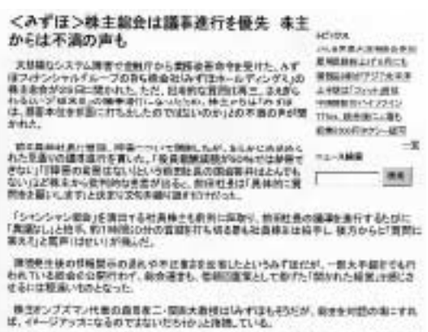
テーマ　ケイタイ情報と他のメディアを比較し、より確かな情報を得る方法を提案する！

一言に『情報』と言っても情報化社会を生きている私たちの周りには多くのメディアがある。それらにはそれぞれ長所もあれば短所もある。例えば事件が起きたとする。その事件を携帯電話のニュースサイトで見ただけでは画面の限られた範囲内でこういう事件が『起きた』という事実しか知る事ができない。しかし、それを新聞やテレビなど、様々なメディアから見ればより詳しく正確に知る事ができる。
　では、何故この様な事がいえるのか？
動機はこの疑問の追究と深く関わっている。

それぞれのメディアの特徴

	携帯電話	インターネット	新聞	テレビ
スピード（新しさ）	速い	速い（別々に提示している為）	遅い（朝夕のみ）	普通（事の重大さによる）
内容（情報量）	少ない（見出しのみ）	普通（別々に提示している為）	普通（字数制限があるため）	普通（事の重大さによる）
正確さ	やや低い（情報源による）	普通（全体的に見て）	やや高い（情報源・記者が明確）	高い（現場にいる事が多々ある）
適正時	より新しい情報を大まかで良いから知りたいとき	最新の情報をいち早くある程度詳しく知りたいとき	より詳しい情報を得たいとき	詳しく、信頼性のある情報を得たいとき
特徴	常に携帯している為どこでもすぐに情報が得られるが情報源と字数が限られてしまうので詳細を知ることができない	最新の情報をいち早くある程度詳しく得られるが見ることのできる場所（環境）がかなり限られてしまう	情報量が多く、情報源、記者名が明確で、写真などがある為信頼性も高いが速度が遅い	音声・映像で発信しており、詳しく、信頼性のある情報が得られるが無定期発信の為欲しい時に欲しい情報が得られない

※これは『みずほ銀行トラブル』について調べたデータを基にしたものです



6月26日 読売新聞朝刊

情報量の比較

左：インターネット
中央：携帯電話
右：新聞

3つのメディアで同じニュースを比較してみた。新聞・携帯・インターネットの分量の違いがこれだけで見てもよく分かる。

情報の確かさとは？

確かさ5ヶ条

①事実にどれだけ基づいているか〔裏づけはあるのか〕
- 実際に起きてもない事件をでっち上げたり、大げさに表現したりしていないか
- 警察や政府、重要参考人（当事者など）からの裏づけはあるか、映像や写真など実証できるものはあるか

※たまに嘘の情報記事が載っている事がある（主にスポーツ新聞）ので注意！！

②情報源はどこなのか
- 野次馬や近所の人から聞いた話だけではないか、正式なところからの情報か
- 当事者から得た情報はきちんと織り込まれているか

③どれだけ新しい情報なのか
- 何日も前の古い内容・情報を入れてないか、常に最新の情報（より新しい情報）が載っているか

④詳細が書いてあるか・見出しがおかしくはないか
- どれだけ細かな情報が書かれているか、大まかな内容だけではないか
- 見出しと内容がまったく違っていたりはしないか

⑤納得のいく記事（情報）か〔内容がおかしくはないか〕
- 他社の（他の）情報・記事と大差はないか、筋道がきちんと通っているか、矛盾してはいないか
- 明らかに違っていたり、疑いのある情報・記事ではないか

★自分で考える事も大事！！

年代別・新聞の閲読者数

産経ホームページより（%の表記）

単位：%

右の図を見てみると、明らかに10代の閲読者が他と比べて少ないことがわかる。平均年齢を見てみても40代後半になっている。
このことから今の若い人たちが新聞を読まず携帯電話からの情報に、頼りきっていることが分かる。

全国	購読世帯の閲読者数	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	平均年齢(歳)
産経	100.0	7.1	10.3	15.9	15.8	19.3	31.6	46.9
朝日	100.0	8.7	11.3	15.6	16.8	20.6	27.0	45.5
毎日	100.0	7.2	11.2	13.1	16.7	21.6	30.2	46.9
読売	100.0	8.1	11.9	16.8	17.3	19.8	26.1	45.2
日経	100.0	3.7	9.8	18.5	16.8	22.5	28.7	47.5

結論　1つのメディアからだけの情報に頼らない!!

追求した結果、いくつかのメディアを利用する事でお互いの短所をカバーしながらより良く、確かな情報を手に入れる事ができる。と言う結論にたどり着いた。
この様な事から私たちは『1つのメディアからだけの情報に頼らない』と言う事を提案する。
特に携帯電話だけからの情報に頼ってきた人はこれを参考に掲示板など、他のメディアを合わせて見ること！！！